

# 平成24年度 各会計決算を認定



実施事業をくまなくチェック!

9月11日から開会した「第4回定例会」に、平成24年度各会計決算認定案が提出された。これを審議するために、議員全員で構成する「決算特別委員会（渡委員長、民法副委員長）」を設置し審査を行った。

委員会では、予算が適正に執行されたかどうかを調査し、来年度の予算編成や行財政運営の改善に役立つべく、熱い議論と意見が2日間にわたり交わされた。最終的には、本会議にて委員会報告を行い、全会一致で原案のとおり認定（可決）した。

## 平成24年度各会計歳入歳出決算額

区 分		決 算 額	
		歳 入	歳 出
一 般 会 計		78億 4,100万円	75億 5,378万円
特 別 会 計	国民健康保険事業	34億 0,345万円	32億 5,922万円
	公共下水道事業	8億 6,204万円	8億 5,298万円
	後期高齢者医療	5億 1,187万円	5億 0,356万円
	介護保険	18億 9,014万円	18億 1,992万円
上 水 道	収益的収支	4億 9,155万円	4億 5,213万円
	資本的収支	1億 8,859万円	1億 4,230万円

## 決算特別委員会での質疑をピックアップ!



Q 収入未済額や不納欠損額が発生する理由は。

A 町税等の徴収事務については、催告書等を送付し納付を促しているが、納付等に応じない者に対しては、財産調査を行い財産がある場合には差押等を行っている。しかし、財産調査を行っても差押する財産が無い者や生活状況が生活保護受給者と同等の者、また納税義務者が死亡し相続人がいない場合等の理由により、税負担能力が無い場合には、徴収を猶予し不納欠損を行う場合がある。

Q 両中学校のプールが故障により何年も使用されていないようであるが、修理して一般開放できないか。

A 現在、学校の大規模改造事業を優先し耐震補強工事を行っている。この耐震補強工事も平成27年度には終わるので、耐震補強工事の目処がつけば、プールの改修をどうするかを検討していきたい。



## 平成24年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、右記の指標について、いずれも「財政健全化団体」及び「財政再生団体」としての基準を下回っており、本町の財政状況は良好な状態であるという監査委員からの意見が、本会議に報告された。

### ■健全化判断比率

- ・実質赤字比率・連結実質赤字比率  
→共に赤字額がないため算定されない。
- ・実質公債費比率 11.0%
- ・将来負担比率 40.5%

### ■資金不足比率

- ・上水道事業(法適用)・公共下水道事業(法非適用)  
→共に資金不足額がないため、算定されない。

## 平成24年度における各部門の主要事業

### 総務部門

#### ■定住交流促進事業（2,310万円）

→首都圏における熊野町及び熊野筆の認知度を高めるため情報発信拠点として、広島ブランドショップTAUの2階に、熊野筆セレクトショップ銀座店を整備した。



▲TAUにある熊野筆セレクトショップ銀座店



▲役場1階住民課のようす

### 民生部門

#### ■住民基本台帳等事業（5,036万円）

→住民基本台帳法の改正により、平成24年7月から外国人住民が、住民基本台帳法の適用対象に加わることとなったことから、平成23年度、24年度の2ヵ年で住民情報系のシステムを改修した。

### 建設部門

#### ■(国庫)深原地区町有地造成事業（2億232万円）

→熊野黒瀬トンネル工事の建設発生土を活用し、産業振興による町政の発展を図るため、深原地区町有地に有効面積約1.7haの流通団地を造成するために工事を行っており、本年度末の3月に完了予定である。



▲工事が進む深原地区の町有地造成事業



▲耐震補強工事を行った熊野第四小体育館

### 教育部門

#### ■小学校大規模改造事業（4,201万円）

→第四小学校体育館の耐震補強工事等を行った。

#### ■中学校大規模改造事業（9,849万円）

→熊野中学校西校舎の耐震補強工事等を行った。